



CHAPTER 10

通知処理関数

この章では、次の通知処理関数に関する情報を示します。

- 「[deregisterNotificationListener](#)」 (P.10-1)
- 「[disableNotificationByEmail](#)」 (P.10-2)
- 「[enableNotificationByEmail](#)」 (P.10-2)
- 「[registerNotificationListener](#)」 (P.10-3)

deregisterNotificationListener

構文

```
boolean deregisterNotificationListener(UserToken token, NotificationListener listener)  
throws RemoteException;
```

説明

この関数は、クライアントプログラムから通知リスナーを削除します。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
listener	Notification Listener イン ターフェイ ス、必須	—	以前に <code>addNotificationListener()</code> によって登録されたオブジェクト。

戻り値

この関数は、登録解除が成功した場合は `true` を返し、失敗した場合は `false` を返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は `false` を返します。

disableNotificationByEmail

構文

```
boolean disableNotificationByEmail(UserToken token) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、ユーザへの電子メール通知の送信を無効にします。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが login 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。

戻り値

この関数は、操作が成功した場合は **true** を返し、失敗した場合は **false** を返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、**RemoteException** がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は **false** を返します。

enableNotificationByEmail

構文

```
boolean enableNotificationByEmail(UserToken token) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、ユーザへの電子メール通知の送信を有効にします。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが login 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。

戻り値

この関数は、操作が成功した場合は **true** を返し、失敗した場合は **false** を返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は `false` を返します。

registerNotificationListener

構文

```
boolean registerNotificationListener(UserToken token, NotificationListener listener)
throws RemoteException;
```

説明

この関数を使用すると、クライアント プログラムの通知用リスナーを登録できます。通知が発生すると、リスナー オブジェクトの `onNotification()` メソッドが呼び出されます。

通知を受け取るためには、クライアントで `registerNotification()` Application Programming Interface (API; アプリケーションプログラミング インターフェイス) を使用する必要があります。通知の受信時に処理を実行するためには、クライアントに `NotificationListener` インターフェイスを実装する必要があります。

```
package com.cisco.nm.clm.common;
public interface NotificationListener {
    public void onNotification(Notification notification);
}
Clients should implement the NotificationListener interface as follows.
public class MyClient implements NotificationListener {
    //other fields and functions to do client's job
    //the action that will be taken on notification.
    public void onNotification(Notification notify) {
        System.out.println(notify.toString());
    }
}
```

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンド サーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
listener	Notification Listener イン ターフェイ ス、必須	—	<code>NotificationListener</code> インターフェイスを実装するオブジェクト。

戻り値

この関数は、登録が成功した場合は `true` を返し、失敗した場合は `false` を返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は `false` を返します。

